

会 議 録

名 称	令和5年度第1回坂戸市高齢者福祉及び介護保険事業審議会
開催日時	令和5年5月17日(水) 午後1時30分～3時
開催場所	坂戸市役所201会議室
出席者の氏名	小田島京子、齊藤多美恵、三ツ森幸子、田中明雄、長野佐七、栗原厚夫(副会長)、高山仁実、松本正人、杉本政弘、新井勇、須田正子(会長)
欠席者の氏名	山田ふみ、川口茂、小林繁、于洋
事務局職員の職・氏名	福祉部長・柴崎慎二、福祉部次長兼高齢者福祉課長・福島洋次、高齢者福祉課副課長・竹之下千恵、同係長・水村健太郎、同係長・小澤泰裕、同係長・厚川芳子、同主任・阿部敬太
会議次第及び配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 挨拶 3 委嘱状交付 4 議事 <ul style="list-style-type: none"> (1)「坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」(第9期)策定に係る各調査について【資料1-1～5】 【当日資料】 (2)第9期計画策定方針(案)について【資料2】 (3)第9期計画の構成・骨子(案)について【資料3】 5 報告 <ul style="list-style-type: none"> (1)坂戸市包括支援センター令和4年度事業報告及び令和5年度予算について【資料4】 (2)指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントの一部委託について【資料5】 6 その他 連絡事項等 7 閉会

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
	<p>4 議事</p> <p>(1)「坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」(第9期)策定に係る各調査について【資料1-1～5】【当日資料】</p>
事務局	事務局より、【資料1-1～5】【当日資料】に基づき説明。
会長	委員から何か質問等あるか。
委員	資料がうまくまとまって勉強になる資料だった。当日資料11ページで地区別で見ると西部地区では買い物支援に困っているという傾向があった。実は今日「ワンコイン買い物支援隊」をやってきた。利用者の家に迎えに行き、スーパーに連れて行って、最後は家まで送る事業で、会長と入西で立ち上げて頑張っている。入西の利用がゼロだが、大家が陸の孤島になっていて利用が増えていて困っている。このアンケートをもとにして高齢者福祉課として何を指すのかまとめてほしい。最終的には市民が理解して納得してがんばろうとならないといけないと思う。
会長	先ほど出た「ワンコイン買い物支援隊」については委員の方はご存じか。
委員	「ワンコイン買い物支援隊」は、500円をいただいて、利用者の自宅まで迎えに行って、民生委員と一緒に、介護施設のシャローム埼玉の車に乗せて、入西のスーパーに連れていく。買い物を利用者本人にしてもらい、フレイル予防を含めて実施している。買うものを自分で選択することで認知症予防にもつながる。頂いた500円は保険などで使っている。最近利用が増えてきている。Sky's(坂戸市介護予防生活支援サービス事業登録団体協議会)を作って、8団体ある。
会長	このような市民活動が行われているということでご承知いただければと思う。ありがとうございます。事務局は回答があるか。

事務局	皆様からのご意見とともにどのように高齢者施策に展開していくかを考えてまいりたい。ぜひアンケートをみて委員の皆様からのご視点からのご意見をいただきたい。
委員	今後高齢者が増えるとともに一人暮らしが増えていく。移送サービスに登録している団体は坂戸市にどの程度あるか。
事務局	移送サービスは、介護予防総合事業に位置付けられるものになるが、本市では実施していない。
会長	市として登録はされていないが、社会福祉協議会では移送サービスはないが、移送に使える車いすを載せることができる車両の貸し出しをしている。
委員	昨年7月から自治会で車を購入し、サポートサービスを実施し、主に買い物や病院などの移動が多い。利用頻度としては病院への送迎が多くなっている。利用者の要望等聞くと旦那さんを亡くしてしまい、ひとり暮らしになると運転ができないという要望が多い。行政にお願いしたいこととして年間のタクシー券を発行できないかという要望があったので、何かしらの対応を考えていただきたい。
委員	入西地区は交通が不便な場所になる。さかっちバスも走っているが1日3本だったり、時間に合わせていくのが難しいのでサポートサービスに依頼がある。市民もそういったものを望んでいるのでご検討いただきたい。
事務局	様々なご意見を受けながら、どのように計画に反映できるか議論していきたい。

委員	<p>「ワンコイン買い物支援隊」は市の広報に載せてもらったことがあるが、でも知らない人も多い。コツコツやっていると認知されない。広報などの周知もあるが、区長会などを活用して回覧などで周知啓発ができればと思う。お金をかけず、これからは情報の共有、情報提供、市のホームページを活用していくことが必要。</p>
事務局	<p>市全体みると、様々な事業や委員の市民活動等を実施している。今後どのように周知が図れるかが一つの課題だと思っている。どのような手法が必要としている人に届くのかというところを考えながら検討していきたい。</p>
委員	<p>日常生活圏域ニーズ調査の結果で、請求書の支払いや預貯金などの引き出し、年金の書類が書けるかなど設問があるが、現段階ではできるとい回答は多かったが、今後できなくなる状況になった場合が大変だとケアマネジャーとして体感している。実際にそういうことが起きた場合、誰がどのように支援しているのかというと、ケアマネジャーや地域包括支援センターの職員が一肌脱いでやっている現状がある。ただそれは本来の業務から外れてしまっていると思う。昨今ケアマネジャーの役割が多くなり、繁忙になっている状況になっている。今回のアンケートにも掲載されているがケアマネジャーの不足がクローズアップされている。狭間の問題について対応できる仕組みなどが必要になってきているので検討していただきたい。</p>
会長	<p>利用者からすると何かとケアマネジャーが対応してくれているが、それをだれが担っていくのが課題になってくる。</p>
事務局	<p>事業所調査を実施しているが、事業所やケアマネジャーともに大変な状況になっているというのは坂戸市を含め全国的な問題だと認識している。今後さらに後期高齢者も増えていくと想定されているなかで、制度の狭間に陥る人もいるため、その対応策についても委員の皆様からご意見をいただきながら審議していきたい。</p>

委員	<p>在宅の場合でも、ご家族が見ていて、第三者を家に入れたくないという方もいるが、独居の人にはお薬カレンダーで残薬を管理しながらやっているが、どこまで踏み込んで面倒をみれるかはご家庭それぞれになってしまう。訪問で往診している方なので、通院することには困っていない方たち。運転ができなくて家族に送迎してもらっているのが薬をとりに来る回数が限られてしまって困っているというのは耳にする。鳩山町ではデマンドタクシーを始めたというのを患者から聞いたことがあり、そのような手段があると便利かなと感じた。</p>
事務局	<p>移動支援については関係部局と協議しながら進めていきたい。</p>
委員	<p>当日資料18ページ フレックスタイム制について知らなかった。調べたら労働時間の柔軟な選択についてということを知った。私は多和目地区で老人会の会長をやっている。介護サービスを受けないためにも健康状態を維持できる努力が必要だと思う。多和目地区の老人会52名でやっている。家でじっとしている人よりも、活動している人の方が元気な傾向にある。半分は何かしらの催しに参加してくれる。残りは家で過ごす方もいる。介護を受ける前の段階を大事にしていく事が必要。自分たちができることとして、それぞれ会員同士声掛けをしていくことが大事だと思う。移送サービスで心配になるのは事故。移送するための保険は必要。従来のタクシーなどのサービスとの調整ができているのか気になった。</p>
事務局	<p>今回のアンケートでも外出や地域活動について回答いただいた。社会活動や社会参加をしていただくことでフレイル予防になり、元気な状態を維持していただくことが重要。また、8ページにあるように主観的健康観が高い人ほど、幸福感が高いなどの傾向がみられるので、外に出て社会参加をしていただくことが元気な高齢者には大事だということを知っている。またその施策についても計画でとらえていきたい。公共交通については、障害者への支援で移送サービスをやっているが、タクシーの協議会と相談の上、了承を得て実施している。地域での移送では引き続き検討していきたい。</p>

委員	<p>こちらへの要望としても病院が多い。しかも埼玉医大や日高の病院が多い。利用者の中でタクシーの代わりに利用している方も出てきている可能性がある。利用者から依頼があった場合、家族構成など聞いたうえで、本当に困った方に対しての支援として動いている。警察と相談したうえで、移送としてではなく見守りとして病院に付き添っていくという場合は利用してもよいという了承を得て実施している。利用者の要件を満たした本当に困っている方を対応していくようにしている。</p>
委員	<p>当日資料17ページの介護離職者が多少減少している。介護保険制度の周知も進んでサービスが浸透してきたということで仕事を辞めずに続けられる人が増えたのかなと思う。22ページの事業所調査の事業展開上の課題では「介護報酬が低い」という意見が多かった。2011年の新聞記事で全国平均6000円を超えたという記事があったが、坂戸市の基準額は4600円と非常に低く抑えている。今後保険料を決めるにあたって、サービスの量や利用者負担を考えていく必要がある。保険料は一元でも安くではないが、必要な負担はしていく中でサービスを利用してもらおうというのが前提になる。また、保険料の設定は基金の取り崩しなども踏まえて考えていく必要がある。</p>
事務局	<p>本日は委員が思うこと、活動の中で感じることなどをご意見いただければと思う。次回以降、介護保険サービスの見込みや保険料の見込みを考えていく必要がある。また、第10期計画を見据えて議論していくことになる。</p>
委員	<p>当日資料24ページで市において不足しているサービスで挙げられているものもあるが、次の改正に向けて新たなサービスの創設を考えていく必要がある。慎重に情報収集をしながら計画を立てた方がよい。</p>
事務局	<p>サービスについては国・県や近隣市町の動向を踏まえて考えていくことになる。市で計画は立てたが手を挙げる事業者がないということも考慮しながら進めていきたい。</p>

委員	アンケート調査がよくまとまっている。アンケート調査をすべて計画に反映するというのは難しいので、調査結果の分析を事業に活かしていくことが必要だと感じた。健康観で8割が健康だと感じている人も多いのには驚いた。
会長	他に質問がなければ、次の議題に進む。
委員	了承
事務局	(2) 第9期計画策定方針(案)について【資料2】 事務局より、【資料2】に基づき説明
会長	委員から何か質問等あるか。第8期計画の踏襲という意味合いが強いと感じたが、制度が大きく変わらないという前提で進むという認識でよいのか。
事務局	資料2については、計画の全体的な構成で前回は踏襲した形で現時点の案をお示しした。国の指針が7月以降発出されるので、それを踏まえて策定していく事になる。
委員	保険料や新しい動きなど現時点の情報はあるか。
事務局	利用者負担増などの議題は出ているが、具体的な方針は現時点では出していない。保険料等への影響する方針は秋以降と考えている。
委員	アンケート調査などを踏まえたうえで、施策を考えて計画を進めていただきたい。
会長	他に質問がなければ、次の議題に進む。
委員	了承

	<p>(3) 第9期計画の構成・骨子(案)について【資料3】 事務局より、【資料3】に基づき説明</p>
会長	委員から何か質問等あるか。
委員	星印が付いている内容についてはどのような意味があるか。
事務局	3月時点の国の資料の中で、第9期計画で充実していく施策になる。国の指針が7月以降発出されるので、それを踏まえて策定していくことになる。
会長	他に質問がなければ、次の議題に進む。
委員	了承
	<p>5 報告</p> <p>(1) 坂戸市包括支援センター令和4年度事業報告及び令和5年度予算について【資料4】</p>
事務局	事務局より、【資料4】に基づき説明
会長	質問がなければ、事務局の説明のとおり了承する。
	<p>(2) 指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントの一部委託について【資料5】</p>
事務局	事務局より、【資料5】に基づき説明
会長	質問がなければ、事務局の説明のとおり了承する。
事務局	<p>6 その他 連絡事項等</p> <p>7 閉会</p>

